

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を越えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

（個別項目）

- ・サプライチェーン全体の情報共有・可視化により業務効率化を推進します。
- ・大王グループの技術を活用し、環境に優しいリサイクル可能な製品や循環型スキームの提案を通じて脱・低炭素社会や持続可能な社会の実現に貢献します。
- ・大王グループとしてアライアンスやM&Aなど事業継承支援に取り組みます。
- ・ホワイト物流の考えに賛同しパレット配送やドライバー拘束時間の削減に取り組みます。
- ・パレット積み付け効率の改善、強度その他に関わる試験検証などを通じ物流品質の向上に貢献します。

2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行のは正に積極的に取り組みます。なお、下請取引以外の企業間取引についても、取引上の立場に優劣がある企業間での取引の適正化を図るという下記項目の趣旨に留意します。

① 價格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者と少なくとも年に1回以上の協議を行うとともに、下請事業者の適正な利益を含み、下請事業者における労働条件の改善が可能となるよう、十分に協議して決定します。その際、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」に掲げられた行動を適切にとった上で決定します。また、原材料費やエネルギーコストの高騰があった場合には、適切なコスト増加分の全額転嫁を目指します。なお、取引対価の決定を含め契約に当たっては、親事業者は契約条件の書面等による明示・交付を行います。

② 型管理などのコスト負担（印版・木型）

「型取引の適正化推進協議会報告書」に掲げられている「型取引の基本的な考え方・基本原則について」や、「型の取扱いに関する覚書」を踏まえて型取引を行い、不要な型の廃棄を促進とともに、下請事業者に対して型の無償保管要請を行いません。

③ 手形などの支払条件

下請代金の支払いは既に現金（振込）としており、今後も継続します。

④ 知的財産・ノウハウ

「知的財産取引に関するガイドライン」に掲げられている「基本的な考え方」や、「契約書ひな形」を踏まえて取引を行い、片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

⑤働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

3. その他(任意記載)

- ・大王パッケージ株)は「大王グループ人権方針」に沿ってサプライチェーンにおける人権を尊重する経営を推進することで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。
- ・大王パッケージ株)はSDGsの考えに賛同し「未来へ つづける つながる つつむ」をテーマに安心してお使いいただける製品・サービスを提供する企業として成長し、サプライチェーン全体の共存共栄に向けた活動に貢献していきます。

2022年4月30日宣言

2025年2月28日更新

大王パッケージ株式会社 代表取締役社長 長岡明男
企業名 役職・氏名(代表権を有する者)